

健康運動演習 Health & Human Movements Practices

素養科目 1年／前期 1単位 必修科目

科目責任者 今野 亮(健康運動科学研究室)

■ 教育目的

医療人の教養ともいえる心肺蘇生法を修得し、高齢者や障がい者に関する知識について模擬体験を通して理解することが第一の目的である。

第二の目的は、レクリエーションなスポーツ活動によって身体的・心理的・社会的側面から健康で安全な日常生活を営む態度を身につけることである。【卒業認定・学位授与の方針：YD-④、YD-⑥、SD-④、SD-⑤】

■ 学習到達目標

1. 心肺蘇生法を修得し、心肺蘇生が必要となる場面に遭遇したときに役割に応じて適切に行動することができる。
2. 高齢者・障がい者の模擬体験を通して、他者へのいたわりや配慮ができる精神を養成する。
3. スポーツ活動を実践することによって、日常生活を身体的・心理的・社会的側面から健康に過ごす態度や習慣を獲得する。

■ 準備学習（予習・復習）

高齢者・障がい者模擬体験と心肺蘇生法 (CPR) については、授業前に関連文献やインターネットなどで調査して基礎的な知識を身につけておく(30分程度)。

■ 授業形態

実習・フィールドワーク

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	(3 限)	オリエンテーション、教員紹介	
//	(4 限)	クラスを 4 班に分類し、個人カードを作成する。	
2	(3 限)	班毎に心肺蘇生法、高齢者・障がい者模擬体験、バドミントン、卓球の 4 種目をそれぞれローテーションで実施する(1 週 2 コマにつき 1 種目の実施)。 ※ローテーションを含む授業実施要領は、オリエンテーション時に説明する。	A (1)-①-1 A (1)-①-5 A (1)-②-1
//	(4 限)	同上	同上
3	(3 限)	同上	同上
//	(4 限)	同上	同上
4	(3 限)	同上	同上
//	(4 限)	同上	同上
5	(3 限)	同上	同上
//	(4 限)	同上	同上
6	(3 限)	2 班毎に、コミュニケーションを重視したレクリエーションを行う。	A (3)-①-5~9
//	(4 限)	同上	同上
7	(3 限)	補講(それぞれ欠席した種目を受講する)	A (1)-①-1 A (1)-①-5 A (1)-②-1
//	(4 限)	同上	同上

■ 授業分担者

A 組(金曜日)今野 亮、非常勤講師

B 組(火曜日)今野 亮、非常勤講師

C 組(木曜日)今野 亮、非常勤講師

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

受講態度(40%)、課題レポート(60%)から総合的に評価を行う。ただし、レポートは授業に参加しなければ提出することはできない。また、レポート未提出者は評価の対象外となる。

■ 教科書

特になし

■ 参考書

特になし

■ その他

学則の定める条件(実習に準じる)を満たさない学生は失格となる。

本科目は卒業必修単位であること、2年次に再履修する時間枠が無いことに留意されたい。